



共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

<p>拠点校Ⅰ (南会津町立館岩中学校)</p>	<p>実践の具体的な内容</p>	<p>取組による成果</p>
	<ul style="list-style-type: none"> □ 既習事項を用いながら英文を正確に書いて伝える力 → 帯活動や授業の終末で英文を書く活動 □ 相手からの質問に対し、その場で適切に回答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する力 → 授業の中で、目的・場面・状況を明確にし、教師と生徒、生徒同士が英語を用いたコミュニケーション活動 □ 学びを振り返り、次時につなげる力 → CAN-DOリストの活用。小中ともに同じ形式で各Unitごとに作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項を活用したり、文法や文の語順などを意識したりして英文作成に取り組めるようになった。 ○ 目的・場面・状況を工夫し、生徒が既習した文法表現を用いなければならない課題設定をすることができた。 ○ CAN-DOリストの活用で、学びの見通しが持てるようになり、授業のつながりが強まった。 ○ CAN-DOリストを活用し、自分ができるようになったことを振り返ることで、意欲的に次への学びへ向かうことができた。
<p>拠点校Ⅱ (南会津町立館岩小学校)</p>	<p>実践の具体的な内容</p>	<p>取組による成果</p>
	<ul style="list-style-type: none"> □ お互いに会話を続けようとする力 → 帯活動での継続的なSmall Talk □ 与えられたテーマに対して、自分の意見を伝えようとする力 → 目的・場面・状況の設定を工夫し、情報や自分の考えなどを形成・再構築する場面の設定 □ 学びを振り返り、次時につなげる力 → CAN-DOリストの活用。小中ともに同じ形式で、各Unitごとに作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talkでは、相手意識を持ちながらコミュニケーションを図り、楽しみながら取り組むことができた。また、学習や経験の蓄積を駆使して、やりとりする力がついてきた。 ○ 「まずやってみる」という自律的な姿が見られた。「中間評価」「再構築」を共有することで、ステップアップした活動ができた。 ○ CAN-DOリストを小中で共有することにより、小中連携を意識した授業を展開することができた。